

1. 「第7回 炉物理部会」総会報告

第7回「炉物理部会」総会が、東京大学工学部で開催の「原子力学会1997年春の年会」の第2日('96/03/25)に開かれた。当日の主な議事、報告事項を以下にまとめる。

1-1 平成9年度運営委員の紹介

部会ニュース(No.6)(平成8年12月25日発行)で予め部会員に周知された平成9年度運営委員候補者に対して、本総会で拍手で以て承認を頂いた。承認を頂いた平成9年度運営委員は以下の方々である。括弧内は任期を示す。

部会長(1年) 東北大 平川 直弘

副部会長(1年) 北 大 成田 正邦

庶務幹事(1年) 東北大 岩崎 智彦

財務小委員会(1年) 三菱重工 佐々木 誠(留任)

(2年) 九 大 工藤 和彦

編集小委員会(1年) 原 研 岡嶋 成晃(留任)

(2年) 日 立 丸山 博見

セミナー小委員会(1年) 北 大 鬼柳 善明

(1年) 北 大 秋本 正

学術研究交流小委員会(1年) 原 研 中川 正幸(留任)

(2年) 京 大 小林 啓祐

学生・若手小委員会(1年) 三菱重工 木村純(留任)

(2年) 阪 大 北田 孝典

1-2 財務小委員会

平成8年度の収支報告があり、特に、雑収入として、約260万円(PHYSOR 96からの寄付)があったことが報告された(別掲)。この用途については、別途検討することとなった。

1-3 炉物理夏期セミナー(鬼柳善明/北大)

第29回炉物理夏期セミナーの紹介があった。(プログラム等の詳細をこのニュースに記載)

・日時 : 7/28(月) ~ 7/30(水)

・場所 : 北海道 札幌 NTT北海道セミナーセンター

・テーマ: 「原子炉動特性と制御に関する話題」、「原子力と大型加速器」

1-4 学会委員会からの報告

(1) 企画委員会(藤田薫顕/京大炉)

・各支部で開催のオープンスクールの予算増加が報告された。

・今後の学会開催予定は、九大(沖縄)、近大(3月26~28日)である。

(2) 編集委員会(飯島進/原研)

英文誌の活性化が検討され、これに関する学会員へのアンケートの集計結果が学会誌4月号に掲載される。また、これま

で検討されてきた英文誌発行の外部委託についてはメリットがないと判断され、外部委託を行わないことになった。さらに、印刷費の削減として、出版社を変更した。また、FDによる提出、TIFFによる提出が可能なよう対応を図ることが検討されている(1年間の試用期間有り)。活性化のためには、情報流通専門委員会への相談やカテゴリーの再考等のコメントがあった。

飯島進氏(原研)の任期が5月で終了し、後任者が検討されている。

1-5 その他

(1)PHYSOR 96 からの寄付金の使途について

部会長から本寄付金の使途について、以下の案が示された。

- ・学会賞(付加賞)の創設
- ・若手の夏期セミナー参加への援助
- ・若手研究者への賞の創設
- ・運営委員会への参加費補助

本件については、運営委員会での検討に一任することが確認された。なお、運営委員会の結果を部会員へ報告し、その結果に意見がある部会員は、E-mail等により運営委員へ連絡することが確認された。

(2)夏期セミナーについて

「フランスで開催している夏期セミナー(Summer School in Reactor Physics)

との乗り入れを考えたかどうか？」との提案があった。

2. 1997年度 第1回炉物理部会 運営委員会 議事録

日時:1997年3月26日

場所:東京大学工学部システム量子工学科 2階会議室

参加者:平川直弘(委員長)、成田正邦、秋本正、岡嶋成晃、丸山博見、小林啓祐、北田孝典、岩崎智彦

議題1:Physor 96 からの寄付金を含む部会繰越金の使途について

この件に関し、各委員から下記の様な使途の案が出された。

- ・夏期セミナーの学生参加者への補助
- ・炉物理部会の情報を蓄えるデータベース及びwebの構築
- ・運営委員会の会議用費用

これらについて討論の結果、下記のことが決定された。

a)6月末までに各委員が使途具体案を作成し、庶務幹事(岩崎)まで送付。

(部会員からも、具体案があれば、庶務幹事(岩崎)まで送付)

b)次回の運営委員会でそれらを検討する。

議題2:学会における炉物理部会企画セッションについて

この件に関し、今回の学会で行われた「炉物理核データ合同セッション」並びに「深井氏による招待講演」についての意見交換

がなされた後、以下のことが決定された。

- a) 今後も、「炉物理核データ合同セッション」を従来通り炉物理部会企画セッションとして開催する。
- b) また、a)とは別の新たな炉物理企画セッションを開催する方向での検討を開始する。
- c) 次回の学会(沖縄)で新たな炉物理企画セッションを開くとした時の、具体的案(セッション内容等)を各委員が検討し、5月末までに学術研究交流小委員会担当幹事(小林)まで送付する。

議題3:本年度の夏期セミナーの学生補助について

- a) 本年行われる夏期セミナーについて、本年度の処置として、30万円を上限として学生に対する補助を行うこととした。具体的な補助方法は、現地委員(セミナー小委員会担当幹事)に一任する事とした。

議題4:次回運営委員会について

本年7月の札幌での夏期セミナーの中で次回運営委員会を開催する。

3.「第29回炉物理夏期セミナー」の案内

「炉物理部会」主催 大学原子力教官協議会協賛

第29回炉物理夏期セミナー

テーマ:「炉心設計解析コードの現状と高度化」&「新しい炉心概念の創出にむけて」

日時:1997年7月28日(月)~30日(水)

場所:NTT北海道セミナーセンター 札幌市中央区南22条西7丁目 Tel. 01

1-552-8400

電車 三越前またはすすきのから乗車、幌南小学校下車 徒歩3分

札幌駅からタクシーで約20分

第1日 7月28日(月)

参加登録受付(12:00~)

開校式(13:00~)

(原子炉動特性と制御I) 13:15~15:05

1. 原子炉の非線形動力学入門 金野 秀敏(筑波大)
2. カオスと原子炉の話 辻 雅司(北大)

(原子力と大型加速器I) 15:20~17:10

3. 大型ハドロン中性子源計画 古坂 道弘(物質構造科学研究所)
4. 中性子科学研究計画 向山 武彦(原研)

懇親会(18:00~20:00)

第2日 7月29日(火)

(原子炉動特性と制御 II)9:00~13:50

5. 炉物理 effをどのようにしてはかるか 岡嶋 成晃(原研)

6. 空間高次モード固有値を測る 橋本 憲吾(近畿大)

7. TRACYとはどんな装置 中島 健(原研)

8. チェルノブイリ事故の始まり 若林 利男(動燃)

(原子力と大型加速器 II) 14:00 ~ 15:50

9. 大電流電子線型加速器の開発と利用 江本 隆(動燃)

10. 中小型加速器の役割 鬼柳 善明(北大)

若手研究者発表会(19:30~)

第3日 7月30日(水)

(原子炉動特性と制御 III) 9:00 ~ 10:50

11. PWRキセノン振動のアキシャルオフセット制御とは

島津 洋一郎(三菱重工)

12. BWRの出力は本当に振動するか(非線形安定性)

堀田 亮年(東電ソフトウェア)

閉校式(11:00)

その他: 7月31日(木) 日本原子力学会北海道支部行事

泊原子力発電所見学積丹半島一周ツアー

(費用)

参加費(テキスト代含む)

炉物理部会員 6,000円、学会正会員 8,000円、学会非会員 10,000円

学生部会員 3,000円、学生正会員 4,000円、学生非会員 5,000円

宿泊費: 5,500円(1泊3食付き)(4人部屋、ベッド机付き)

懇親会費: 3,500円(夕食代含む) ツアー参加費 1,000円程度

(申込方法)

所定の申込用紙に必要事項を記入し、下記に郵送又はFAXしてください。参加費等は前金でお願いします。振り込み口座番号は申込用紙に記載してあります。なお、申込用紙は「炉物理部会」会員のいる機関に配布いたしますが、必要な方は下記にお問い合わせください。

(申込〆切)

申込〆切: 6月10日(火)(定員90名、先着順)

(問い合わせ、申込先)

〒060 札幌市北区北13条西8丁目

北海道大学 工学研究科 量子エネルギー工学専攻

鬼柳 善明

Tel.: 011-706-6650 Fax.: 010-706-7896

E-mail: kiyanagi@hune.hokudai.ac.jp

4. その他

4-1 第4回「放射線工学」夏期セミナー案内

放射線工学部会から、夏期セミナー案内が届きましたので、下記に掲載します。

第4回「放射線工学」夏期セミナー 日本原子力学会「放射線工学部会」主催

日時:平成9年7月16(水)～18日(金)(2泊3日)

場所:メゾン軽井沢セミナーハウス (長野県北佐久郡軽井沢町鳩山通り)

テーマ:「加速器の利用と放射線防護」

目的

我が国において現在、大規模な加速器建設計画が相次いでおり、加速器に対する興味が非常に高まっている。本セミナーでは、加速器に関する基礎知識や現在の現状および加速器施設の放射線の遮蔽・防護に関して理解するとともに、加速器がどのように応用されており、これらがどのように産業、社会に貢献しているのかを知る。

講演内容

- ・なぜ加速器なのか? (加速器の基礎) (京都大学)井上信
- ・高エネルギー - 加速器施設における放射線防護 (KEK) 伴秀一
- ・加速器利用施設設計のための計算コードシステムとその利用 (原研)佐々敏信
- ・世界最大の加速器施設CERN (原研)中島宏
 - 放射光による構造生物学及びその医学、生物学への応用
((財)高輝度光科学研究センター)大野茂
- ・加速器の物性研究への応用 (原研)左高正雄
- ・若手研究発表会

参加者の中から学生・若手研究者を中心に、自分の携わる研究について30分程度にまとめて発表していただく発表者を募集します(4,5人程度)。

参加費等

- ・宿泊費 22,000円 (2泊、朝夕食付き)
- ・懇親会費 4,000円 (学生 1,000円)
- ・参加費
部会員 1,000円、学会員 4,000円、非会員 9,000円、学生 無料

申込

締切:6月13日(定員40名、定員になり次第締切)

申込先:

参加を希望される方は、申込書に記入の上、郵便、FAXまたはE-mailで下

記宛にお申し込み下さい。

<宛先> 日立エンジニアリング(株) CE1部 原ブGr

斉藤 方達

郵便 〒317 茨城県日立市幸町3-2-1

Fax 0294-23-6700

E-mail JAH01777@niftyserve.or.jp

夏期セミナーに関する問い合わせは、下記実行委員まで

中尾徳晶 (高エネルギー加速器研究機構)

TEL:0424-692245, FAX:0424-69-2145, E-mail:noriaki.nakao@kek.jp

高橋史明 (原子力研究所 東海研究所)

TEL:029-282-5877, FAX:029-282-5609, E-mail:taka@frssun.tokai.jaeri.go.jp

斉藤方達 (日立エンジニアリング)

TEL:0294-23-5688, FAX:0294-23-6700, E-mail:JAH01777@niftyserve.or.jp

後藤 実 (住友原子力)

TEL:029-282-6675, FAX:029-282-6677, E-mail:gotoh@procsafe.tokai.jaeri.go.jp

4-2 運営委員会からのお願い

部会内の連絡等を速やかに且つ効率的に行うために、E-mailによるネットワークを構築しようと考えています。そこで、会員各位のE-mailアドレスを庶務幹事までお知らせ下さい。

庶務幹事 岩崎智彦 (E-mail:tomohiko.iwasaki@qse.tohoku.ac.jp Tel:022-217-7910、Fax:022-217-7900)